

環境安全基本法制定を求める 国際市民セミナー第2回

有害化学物質から子どもを守る ドイツに学ぶバイオモニタリング制度

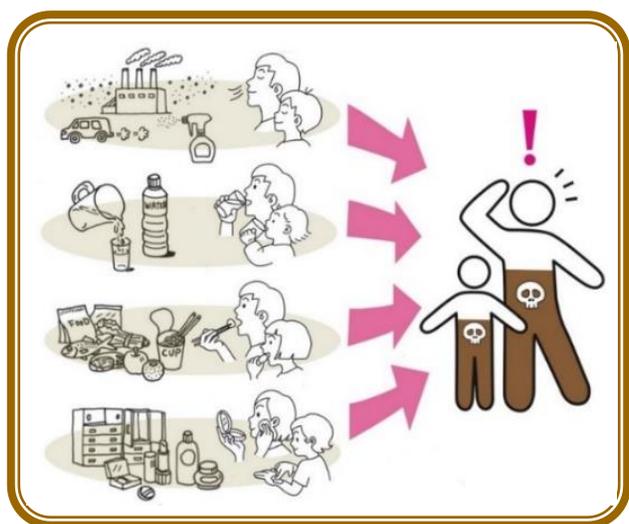
海外で先行している有害化学物質管理でのバイオモニタリング制度を学ぶセミナー2回目です。

今回は、世界でも最も先進的にバイオモニタリング制度を活用しているドイツから、ドイツ連邦環境省の現役官僚で研究者であるマリケ コロッサ-ゲーリング博士にお話しいただきます。

ドイツ政府は、有機フッ素化合物のPFOS,PFOAなどの有害化学物質でのヒト血中濃度において、その濃度以上では、健康影響が起こる可能性が出てくるため緊急にばく露低減対策を取る必要があるとする管理目標値などが定められ、有害化学物質規制に活用されています。

国民会議が2020年に実施した東京多摩地区での住民血液調査では、PFOS,PFOAにおいてその管理目標値を超える値が検出され、大きな問題になりました。

国民会議では、12月31日集約期限で「環境安全基本法」請願署名を実施中です。2万筆を超えている状況です。一人でも多くの署名が集められるようご協力をお願いいたします。



このセミナーは2021年度
地球環境基金の助成を受けて開催されます。

日時 2021年12月8日 (水)
午後6時～8時

会場 新型コロナ感染予防対策のため
Zoomウェビナーでライブ配信
逐次通訳付き

参加費 無料
参加ご希望の方は、
メール (kokumin-kaigi@syd.odn.ne.jp)
でお申し込みください。ウェビナーのライブ配信URL
をお知らせします

講師 マリケ コロッサ-ゲーリング博士
Dr. Marike Kolossa-Gehring



ドイツ連邦政府環境省「毒性・健康関連環境モニタリング部」部長。EUの「欧州ヒト・バイオモニタリングプロジェクト(HBM4EU)コーディネーター。バイオモニタリング制度を含め化学物質規制の在り方についての研究論文多数。

お問い合わせ お申込み

NPO法人ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議

〒136-0071 東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル4階
Tel.03-5875-5410 Fax.03-5875-5411
Homepage: www.kokumin-kaigi.org
Email: kokumin-kaigi@syd.odn.ne.jp